

基本方針に関する事業進捗状況記入シート

基本的な方向性	基本的方向性1 子どもの遊び・学び・体験機会の提供と個々の学力向上に取り組みます
施策項目等	施策項目4 遊びや社会体験、文化に触れる学習の提供
事業・施策	地域の催し等へ参加する際に多文化共生参加や地域の多様な主体と交流する機会の増大
担当課	ふるさと文化財課
担当係	学芸係
トピックス	子ども向け事業の実施(学校教育との連携)
現在の状況	<p>・ふるさと文化財課では、学校との連携事業に注力してきた。新型コロナウイルス感染症の影響で事業を実施できない期間もあったが、令和5年度からはコロナ禍前の状況に戻りつつある。令和5年度の実績は以下の通り。</p> <p>【見学・出張授業】</p> <p>・郷土資料館:学校による見学: 14件、654人 学校への上出張授業: 11件、891人</p> <p>・新選組のふるさと歴史館:学校による見学: 6件、181人 学校への上出張授業: 2件</p> <p>※来館の形態は、団体見学やグループによる調べ学習など様々。</p> <p>【資料の貸出し】</p> <p>・学校の授業や地域の子どもの向け行事に際し、実物の民俗資料や、解説パネルなどを貸し出した(5件)。</p>
今後の展開	<p>・実物の資料に触れることは、子どもの学びのうえでとても大切な経験になる。</p> <p>・学校の授業は、博物館や資料館を訪れる機会に恵まれない子どもであっても、実物を見たり、触れたりすることができる貴重な機会であると認識している。</p> <p>・このため、学校への周知をはかり、授業(特に郷土学習)の中に実物の資料を活用できるよう、学校との連携を高めたい。</p> <p>・現状では学校からの申入れによる授業対応が主となっているが、将来的には授業以外の場でも、子どもたちの誰もが日野の歴史・文化に触れられる機会を、学校と協力しながら作っていきたい。例えば、学校での出張展示(ミニ博物館)などが考えられる。</p>

(補足事項など)

・ふるさと文化財課では、子どもを(小中学生)を対象とした展示や体験学習会などを展開している。令和5年度の実績は以下の通り。(※は無料の行事)

【展示】

・夏の企画展「日野新選組塾」R5.7.11～9.18

関連行事として①体験学習会「天然理心流入門」、②新選組博士スタンプラリー、③体験学習会「石田散薬を作ってみよう」*、を開催。

【体験学習会】

- ・遺跡見学会「日野バイパス親子見学会」 R5.8.23*
- ・体験学習会「里山秋の実り&縄文オーナメント作り」 R5.12.3*
- ・体験学習会「化石でたどる大昔の日野」 R6.3.26*

※上記のほか、一般の講座、体験学習会でも、小学生もしくは中学生以上が参加可能な事業を行っている。

・ふるさと文化財課は、令和3年4月に、生涯学習課文化財係、郷土資料館、新選組のふるさと歴史館の2課1係が統合して発足した。
